

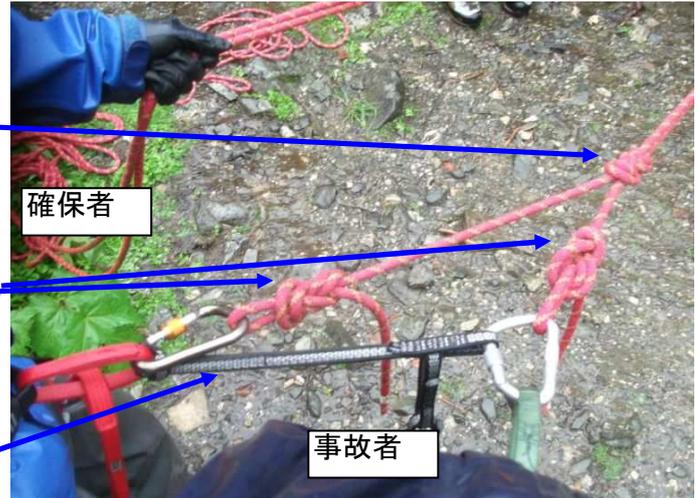
<2. 転落者の介助懸垂>

確保者が事故者(転落者)と共に、急斜面から吊り下ろす救助作業

- ① 茎を数本束ね、それをスリング120cmほどで3重に縛り、それら2本をカラビナでまとめ、半マストでロープをかける。
(懸垂下降するため)

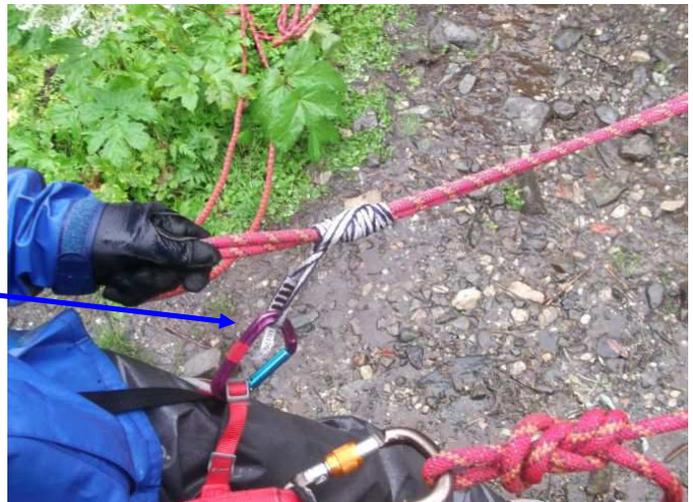


- ③ 2本のロープの端を合わせ、腰までの高さで8の字結びをする
(適切な距離を作るため)



- ④ 確保者及び事故者、それぞれ8の字結びをする
(確保者が事故者の腰に手を添えて降りられるようにするために、事故者側の方を確保者より短く結ぶ)

- ⑤ 確保者と事故者とのハーネスのビレイループをスリングなどでつなぐ



- ⑥ ハーネスのレッグループにカラビナを通し操作するロープの方にクレムハイストをかける。
(確保者が左手を離しても、双方が落ないようにするため)

- ⑦ 確保者の左手でロープを操作し、事故者を救助する。

以上

こちらはATCガイドを使用して救助する例

折り返しを1回入れることで、懸垂下降の速度をおさえることができる

